

公共交通アンケート集計

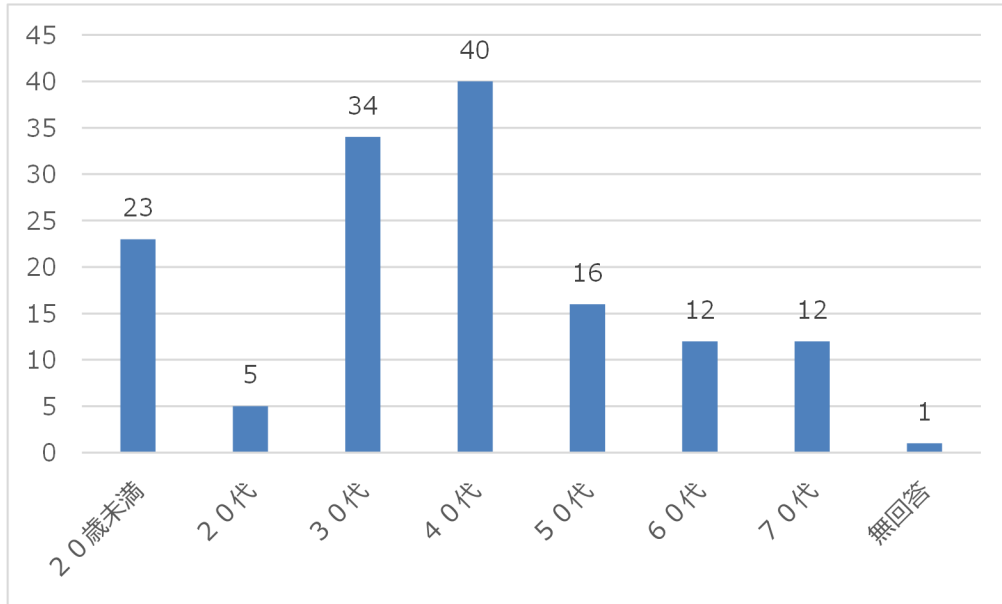
(2025/10/12 せいか祭り回収分)

令和 8 年 1 月 8 日 (木曜日)
精華町地域公共交通会議

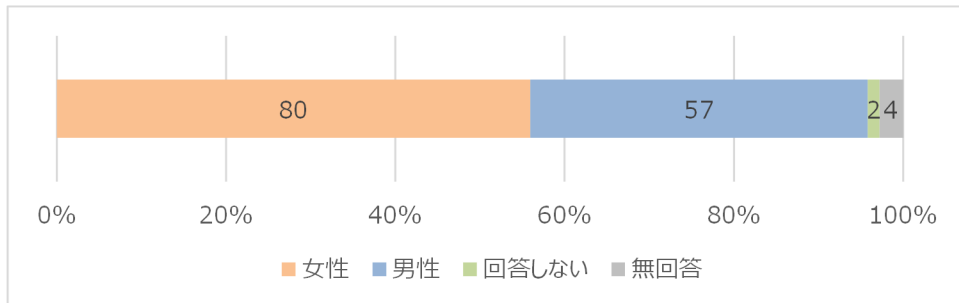


回答者数：143人

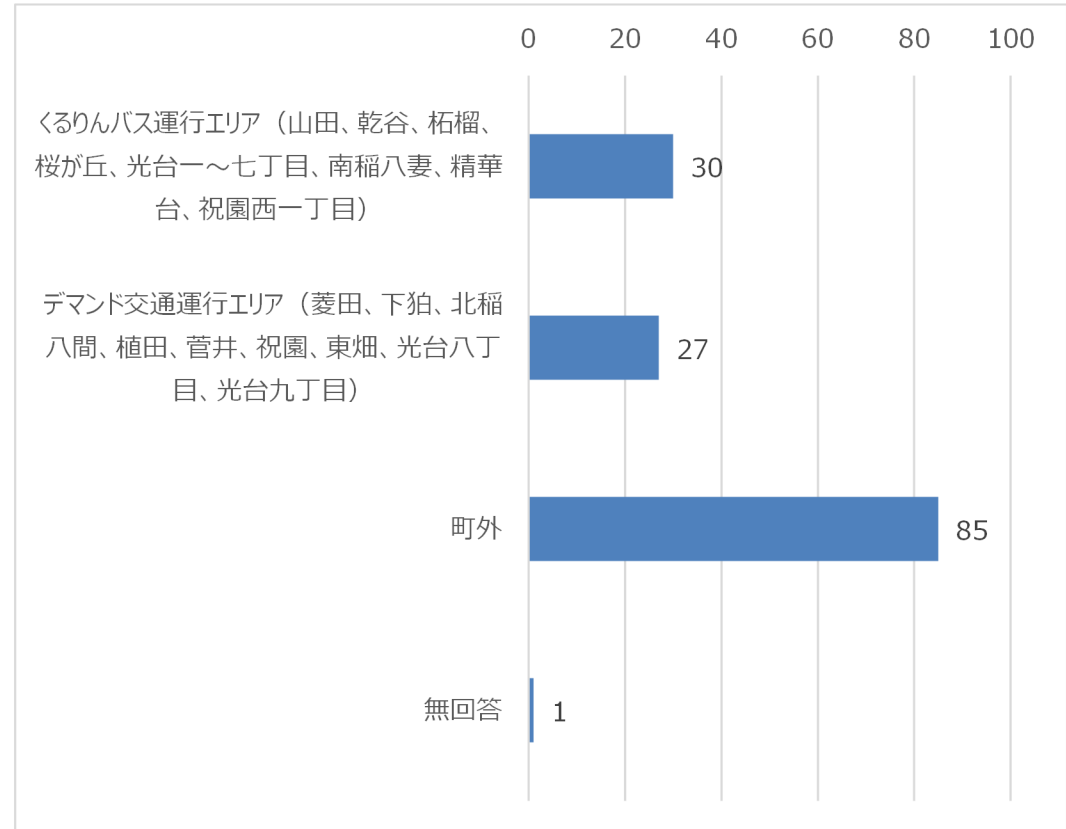
■年齢



■性別



■居住エリア

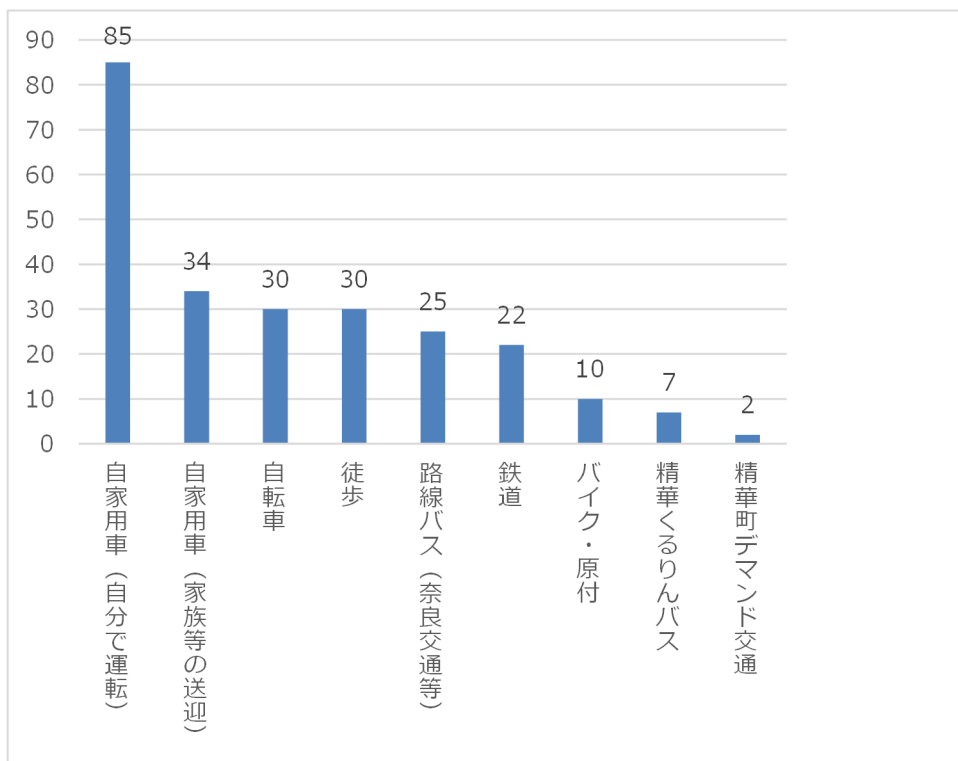


普段の移動手段

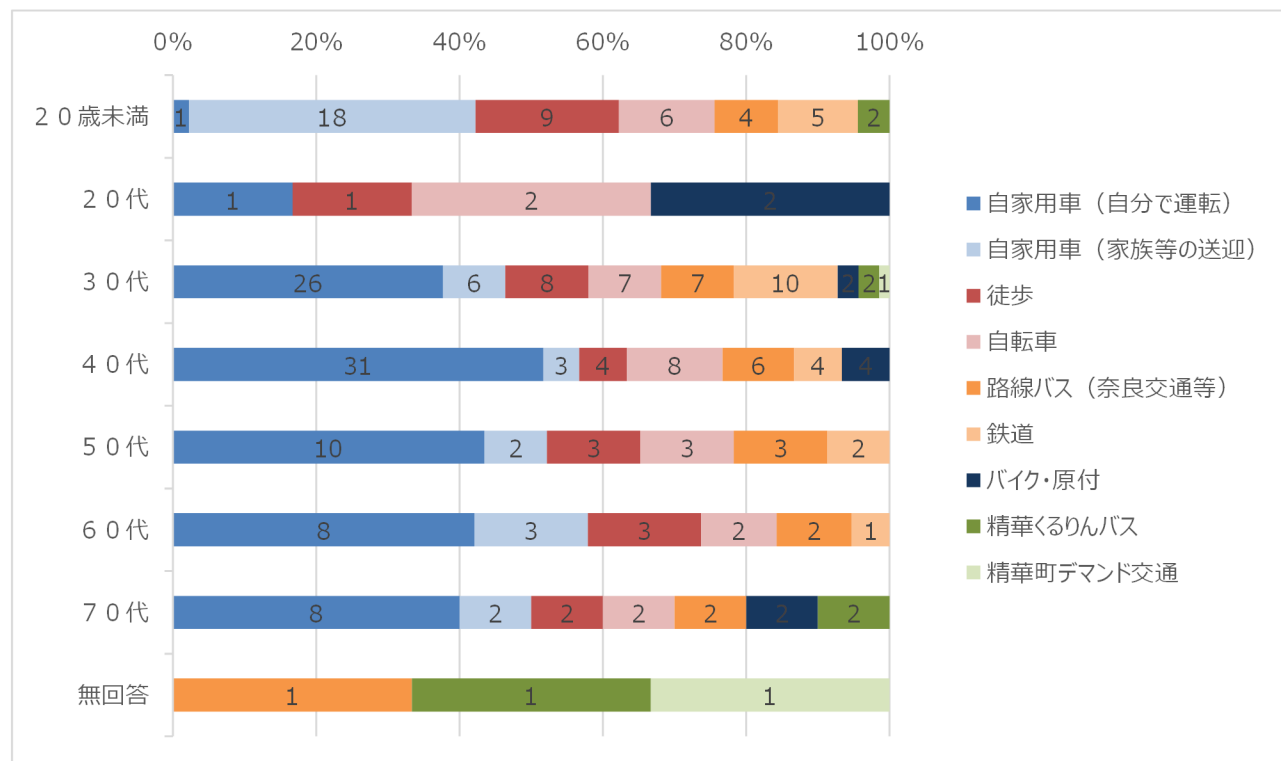


- 普段の移動手段としては、自家用車（自分で運転）が最も多く、くるりんバスやデマンド交通を挙げた回答の割合は小さかった。
- 年齢別にみると、20歳未満で家族等の送迎の割合が高くなっている。

■ 普段の移動手段



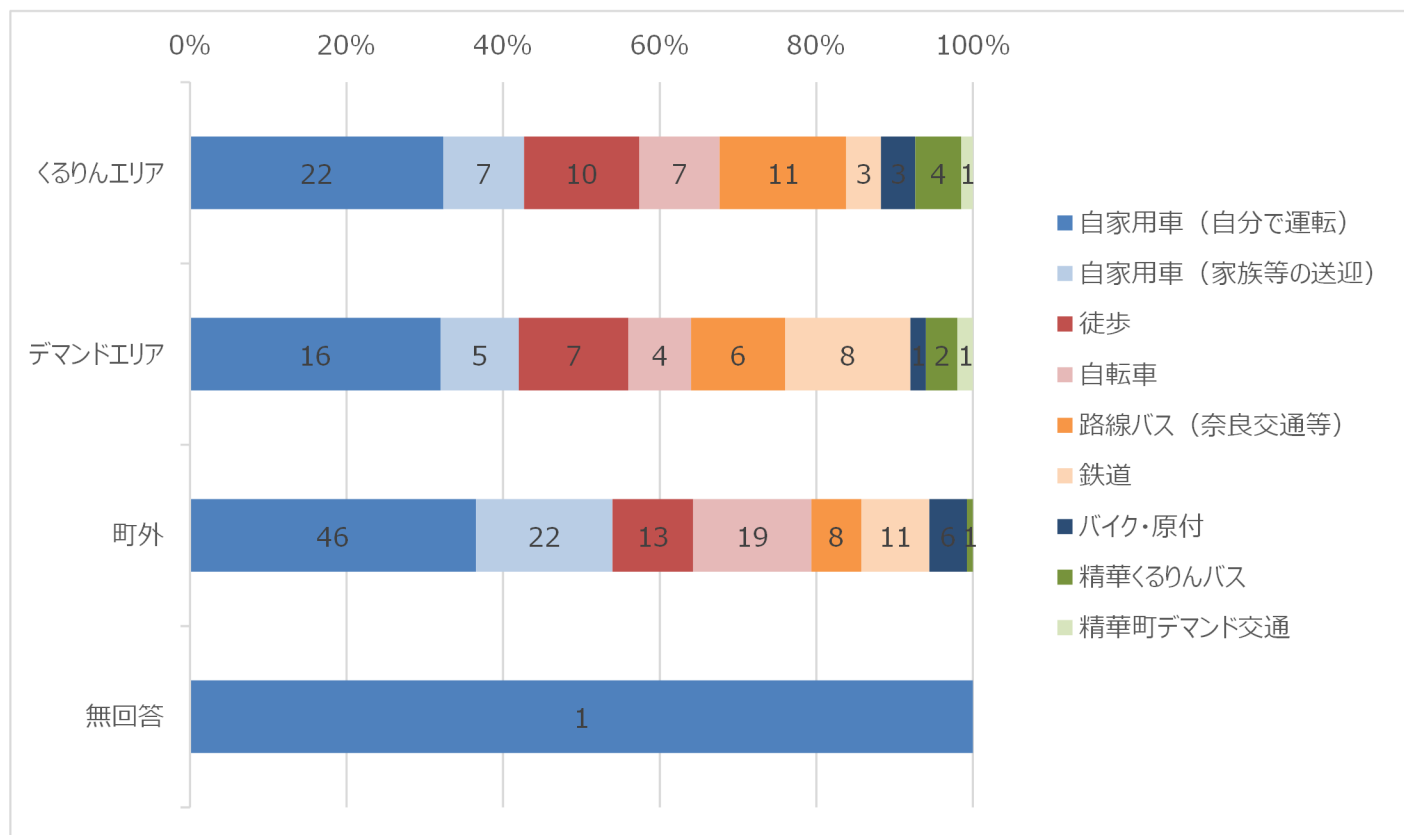
■ 普段の移動手段 (年齢別)



普段の移動手段（居住地別）



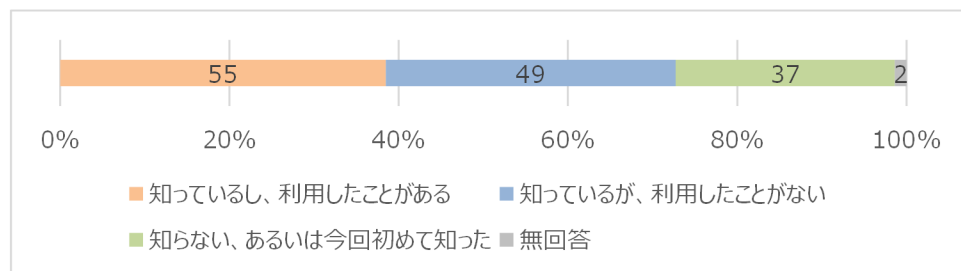
- 居住地別にみると、くるりんバス運行エリアでは「路線バス（奈良交通等）」の回答が比較的多い。
- デマンド交通運行エリアでは、「鉄道」の回答が比較的多い。



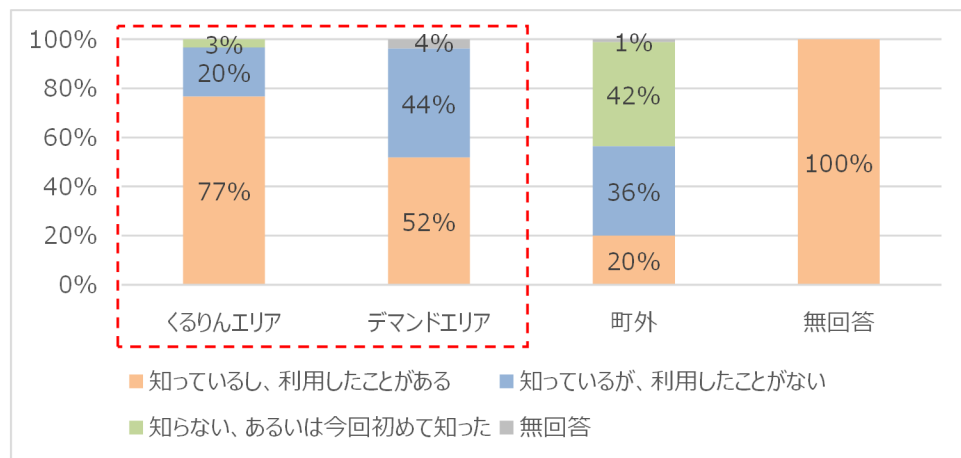


- くるりんバスについて、回答者全体では「知らない、あるいは今回初めて知った」という回答が26%あったものの、町内の回答者に限ると95%以上が知っているという回答している。
- くるりんバス運行エリアでは約77%の回答者が「利用したことがある」と回答している一方で、デマンド交通運行エリアの回答者の利用経験は約52%と比較的少なくない結果となった。
- 精華町内に居住している方のくるりんバスを利用したことがない理由としては「他の交通手段（自家用車等）の方が便利」との回答が最も多く、自家用車を利用できるうちは、くるりんバスを利用する必要性を感じていないものと考えられる。

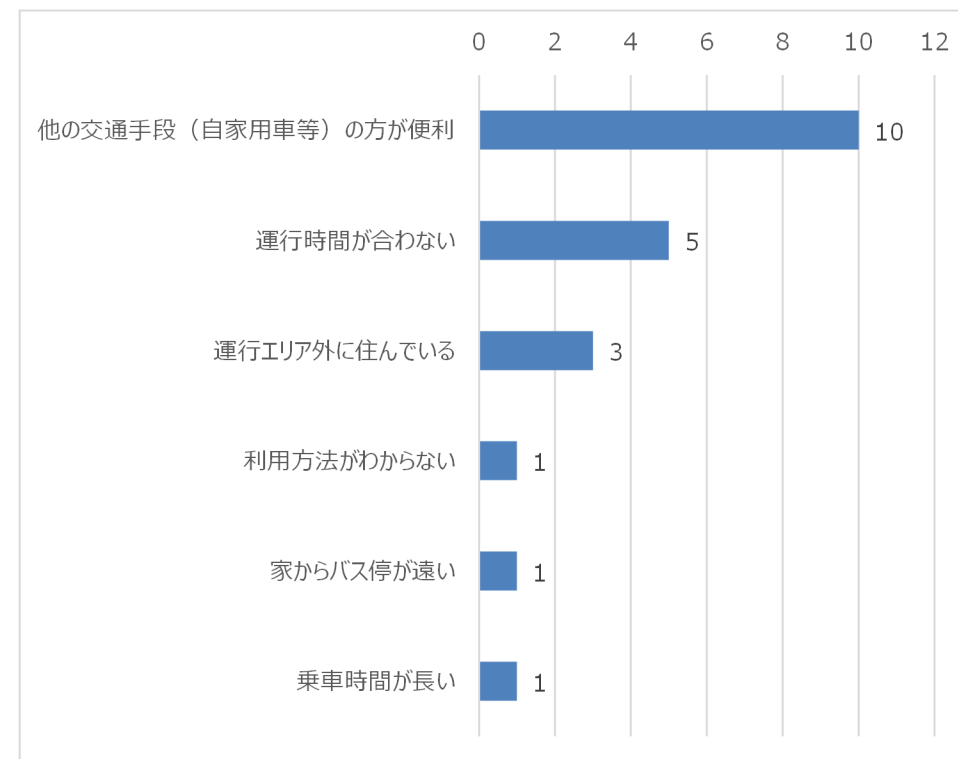
■精華くるりんバスを知っているか



■精華くるりんバスを知っているか（居住地別）



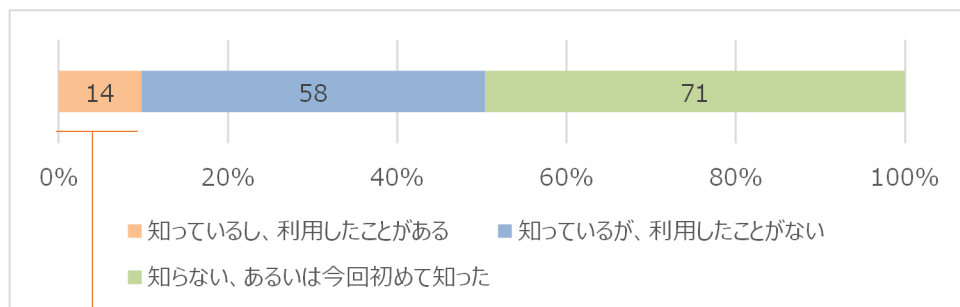
■精華くるりんバスを利用しない理由（町内居住者）



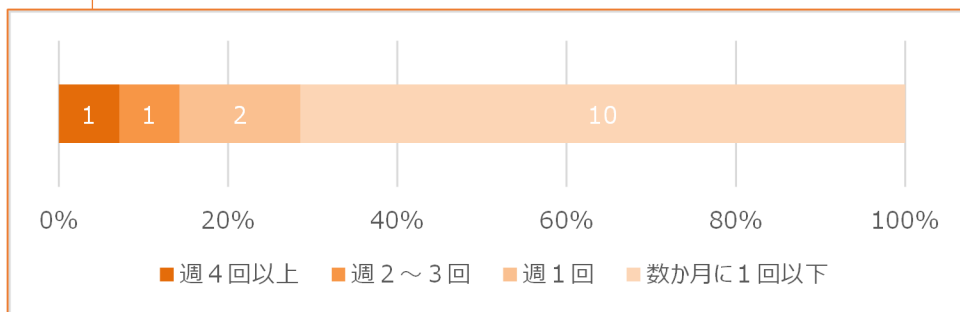


- デマンド交通の認知率は約50%であった。
- 実際に利用したことがあったのは14人で、うち1人が週4回以上の利用があると回答した。
- 利用の主要な目的は「買い物」となっていた。

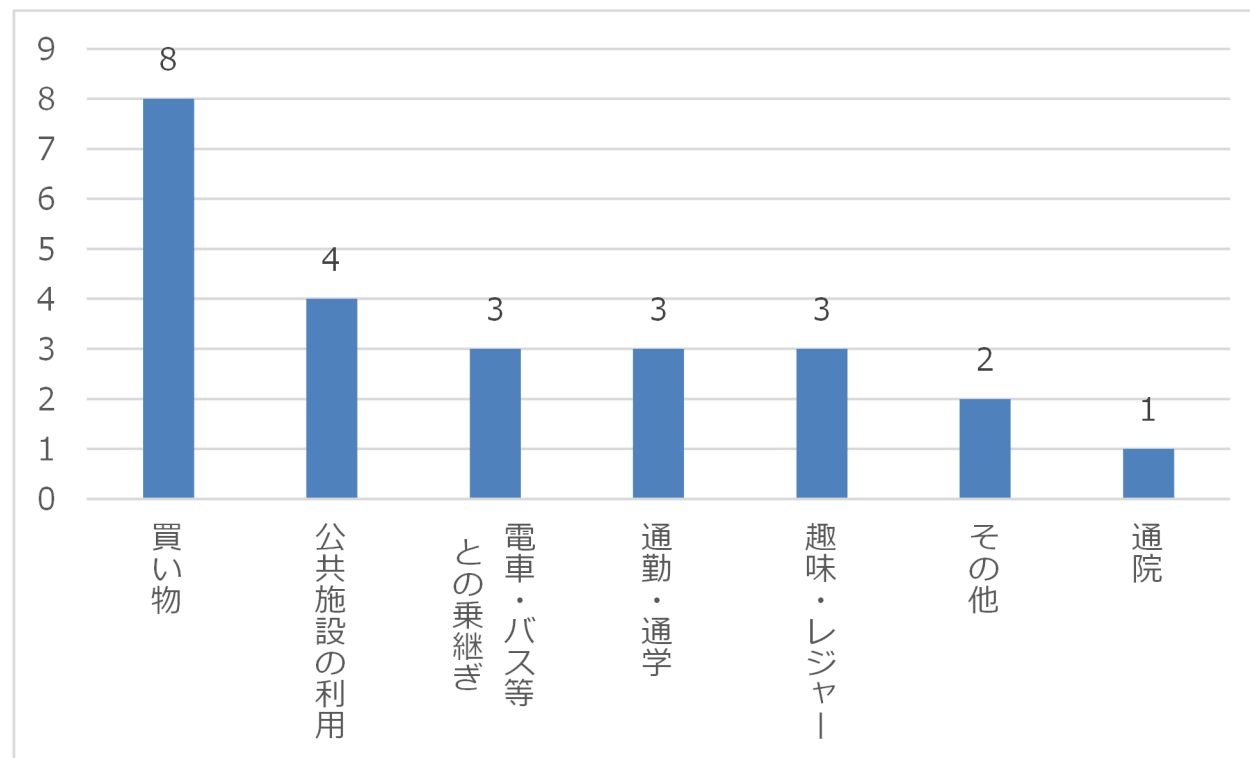
■精華町デマンド交通を知っているか



■利用頻度



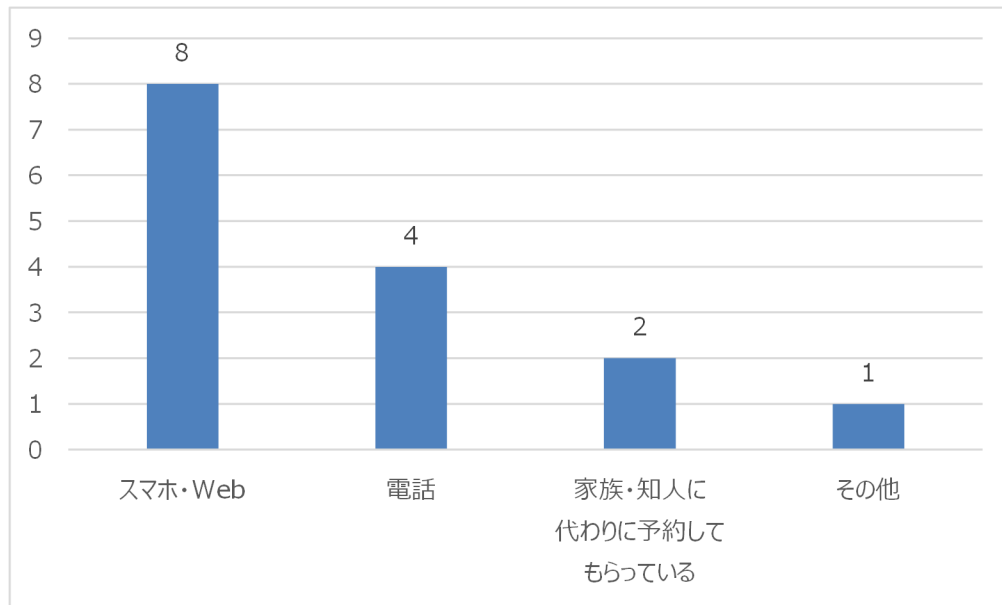
■デマンド交通を利用する目的



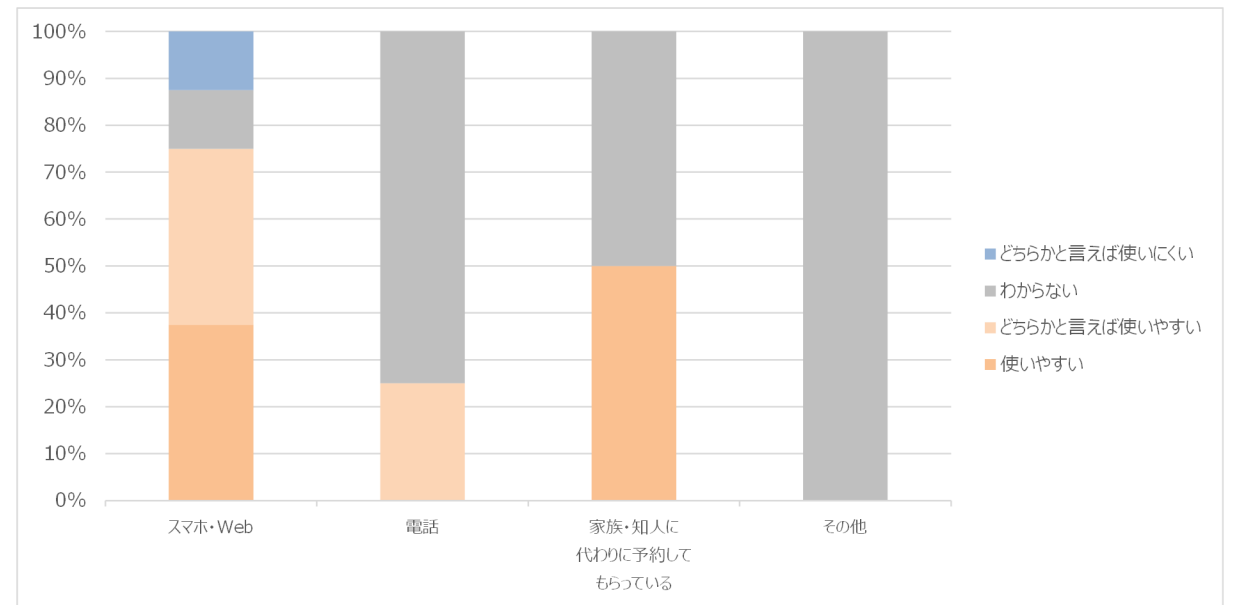


- スマホ・WEBで予約を行っているという回答が最も多かった。
- 予約方法の使いやすさでは「わからない」との回答が多くなっていた。スマホ・WEBでは7割以上が「使いやすい」「どちらかと言えば使いやすい」と回答した。

■精華町デマンド交通の予約方法



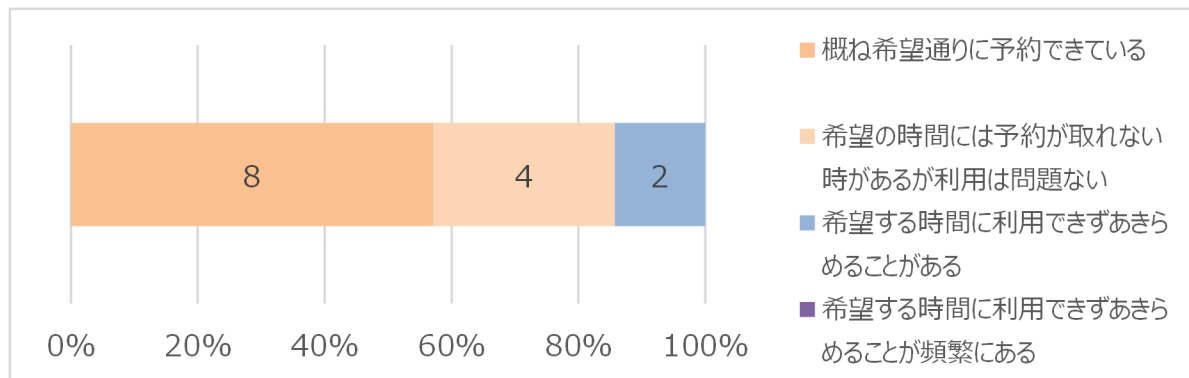
■予約方法の使いやすさ



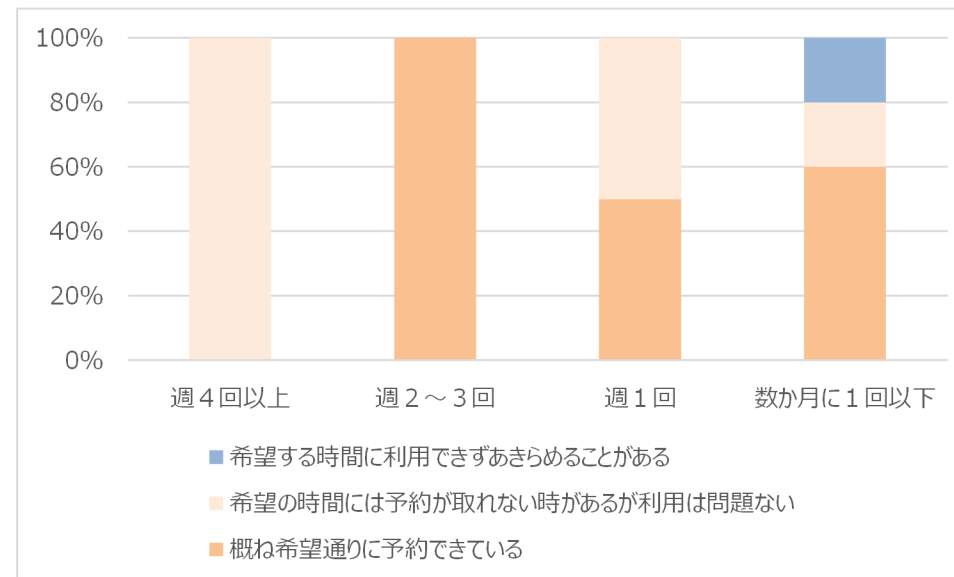


- 「概ね希望通りに予約できている」との回答が最も多かった。
- 利用頻度別にみると、数カ月に1回以下と回答した利用者に「希望する時間に利用できずあきらめることがある」との回答がみられることから、コンスタントに利用している方は予約タイミングなどの要領を掴んで利用できている一方、日常的に予約を行わない利用者にとっては予約が取りづらい場合がある可能性が考えられる。（回答数が少ないため、傾向は参考）

■希望する時間に予約できているか



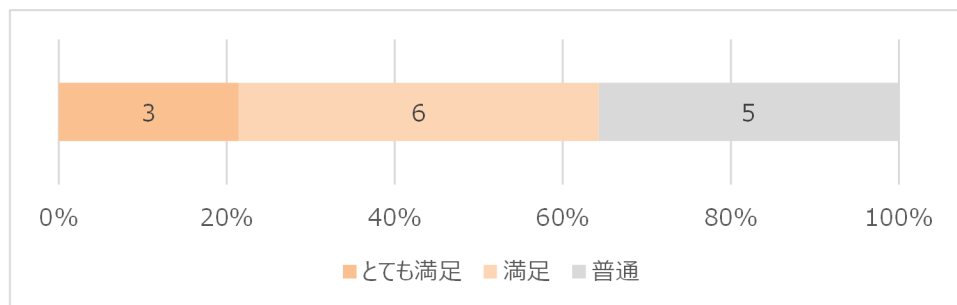
■希望する時間に予約できているか（利用頻度別）



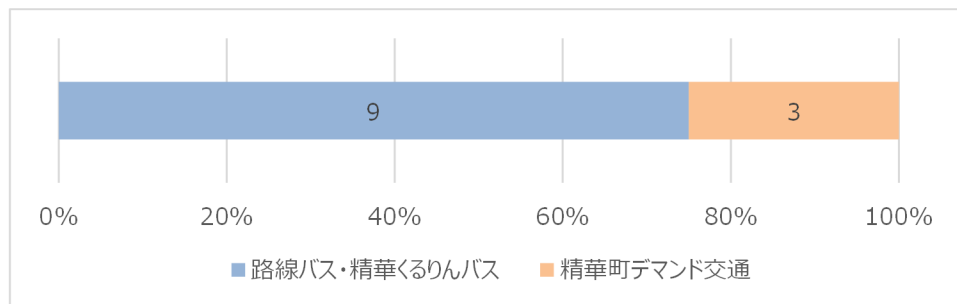


- デマンド交通の満足度は、「とても満足」「満足」との回答が6割強を占めている。
- 一方で、「定時定路線の路線バス・精華くるりんバスと予約型の精華町デマンド交通とではどちらが使いやすいですか？」との問いには「路線バス・精華くるりんバス」との回答が多くなっている。

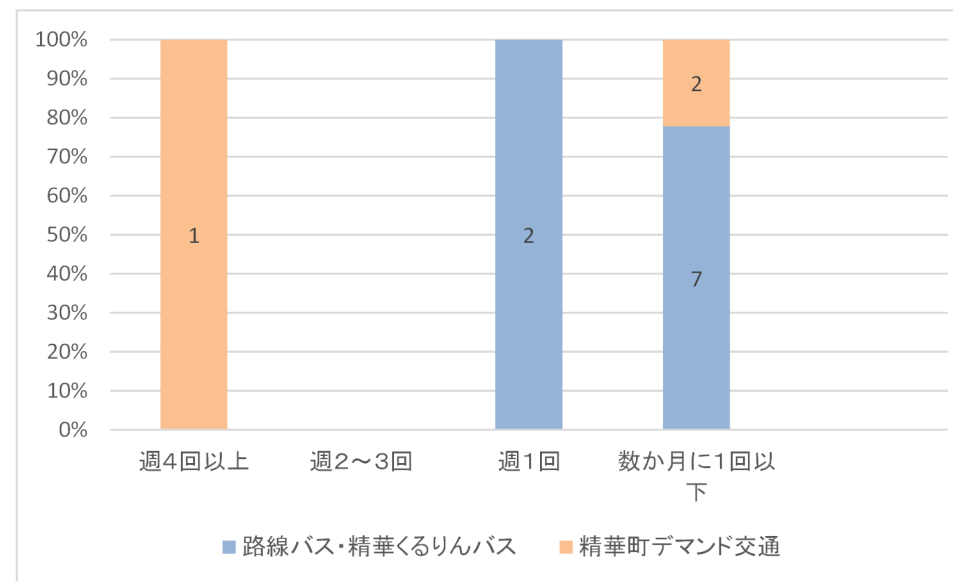
■デマンド交通の満足度



■路線バス・くるりんバスとデマンド交通どちらが使いやすいか

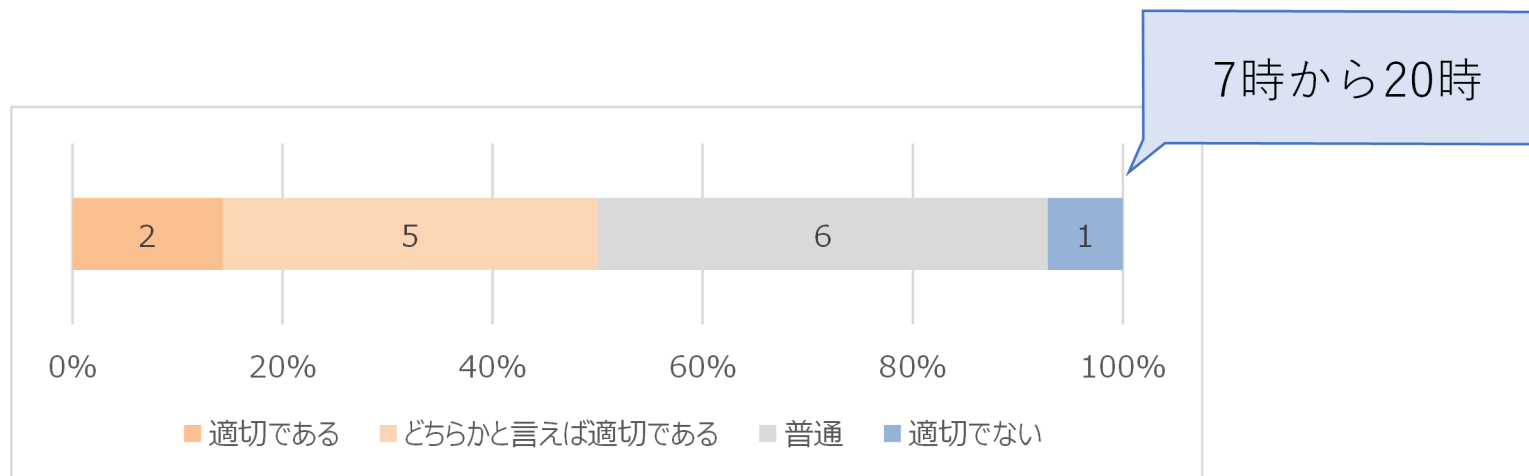


■路線バス・くるりんバスとデマンド交通どちらが使いやすいか（利用頻度別）





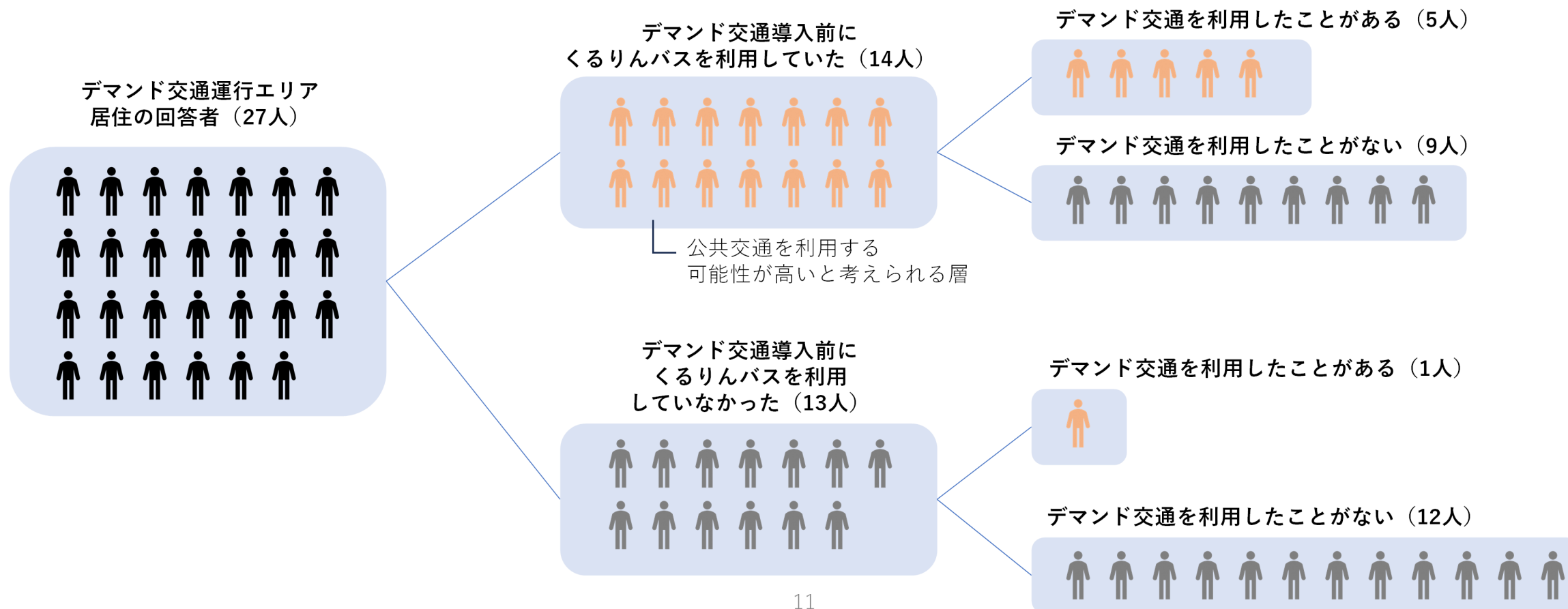
- デマンド交通の運行時間については、回答者の半数が「適切である」「どちらかと言えば適切である」と回答した。
- 「適切でない」と回答した利用者は、具体的に「7時～20時」が適切と記入していた。



くるりんバス利用経験者のデマンド交通利用状況



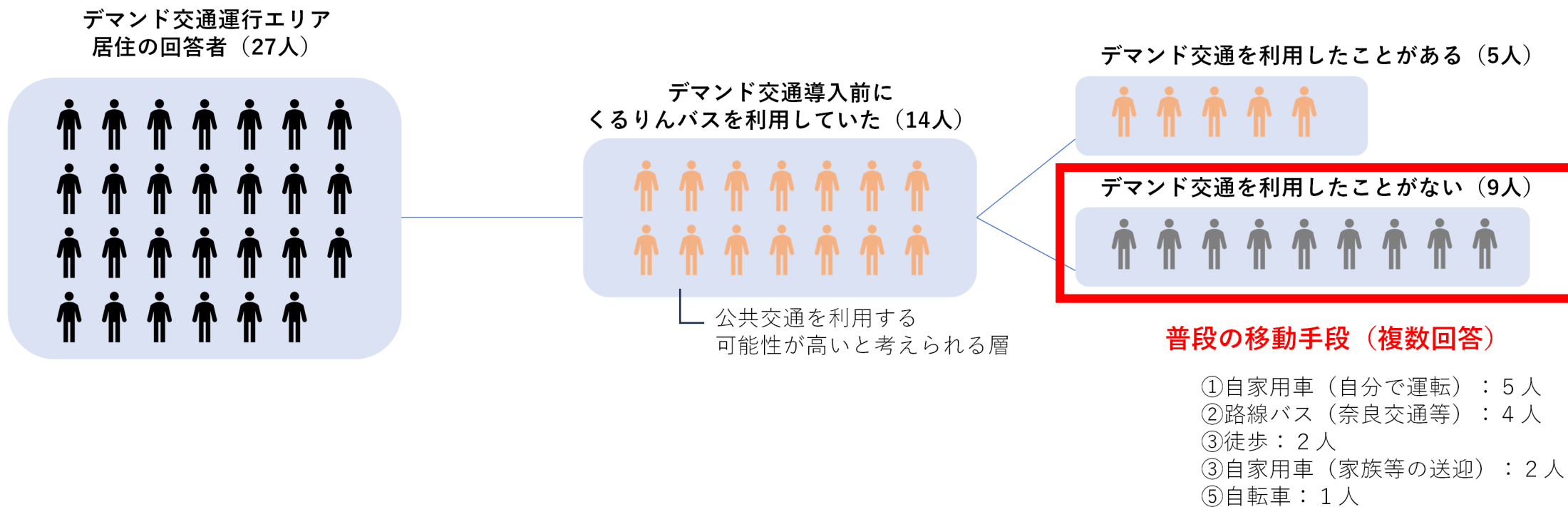
- デマンド交通導入エリアに居住し、かつデマンド交通導入前にくるりんバスを利用していた回答者のうち、デマンド交通を利用したことがあると回答したのは5人であり、まだデマンド交通を利用したことがないとの回答の方が多かった。
- 今回のアンケートは回答数が限られていること、デマンド交通導入前のくるりんバスの利用頻度が不明であることから詳細な分析は難しいが、くるりんバスの利用経験者にデマンド交通の利用を促していく施策が必要と考えられる。



デマンド交通をまだ利用していない人の普段の移動手段



- デマンド交通導入エリアに居住し、かつデマンド交通導入前にくるりんバスを利用していた回答者で、デマンド交通をまだ利用したことがないと回答した9人の普段の移動手段は「自家用車（自分で運転）」が最も多く、次いで「路線バス（奈良交通等）」となった。

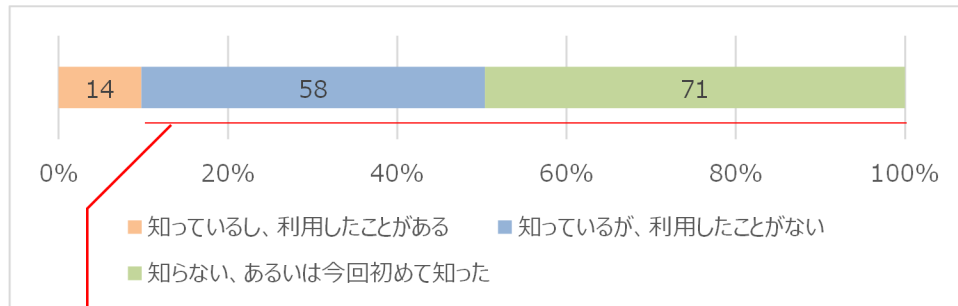


デマンド交通を利用しない理由

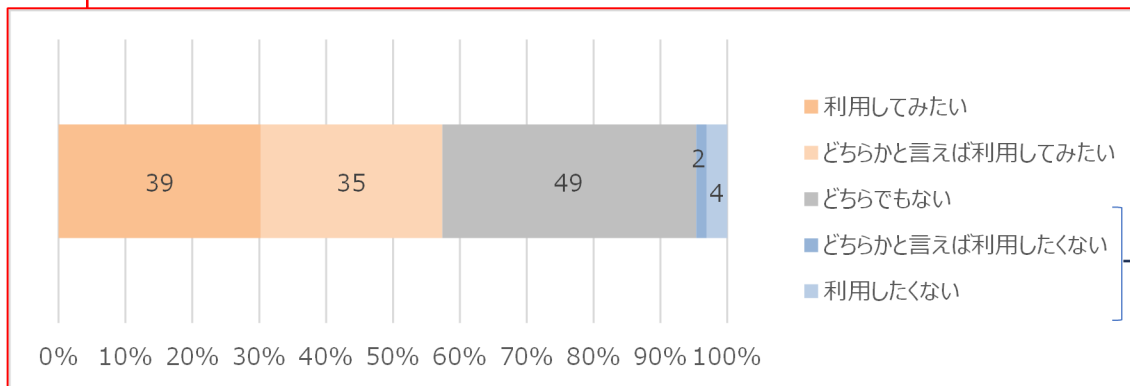


- 精華町デマンド交通を利用したことがない回答者のうち、約57%が「利用してみたい」「どちらかと言えば利用してみたい」と回答した。
- 今後も「どちらかと言えば利用したくない」「利用したくない」と回答した理由は、「利用方法がわからない」「乗車料金が低い」等となっており、利用方法や運賃の設定根拠、割引制度等について理解を促進することが利用のハードルを下げることに繋がると考えられる。

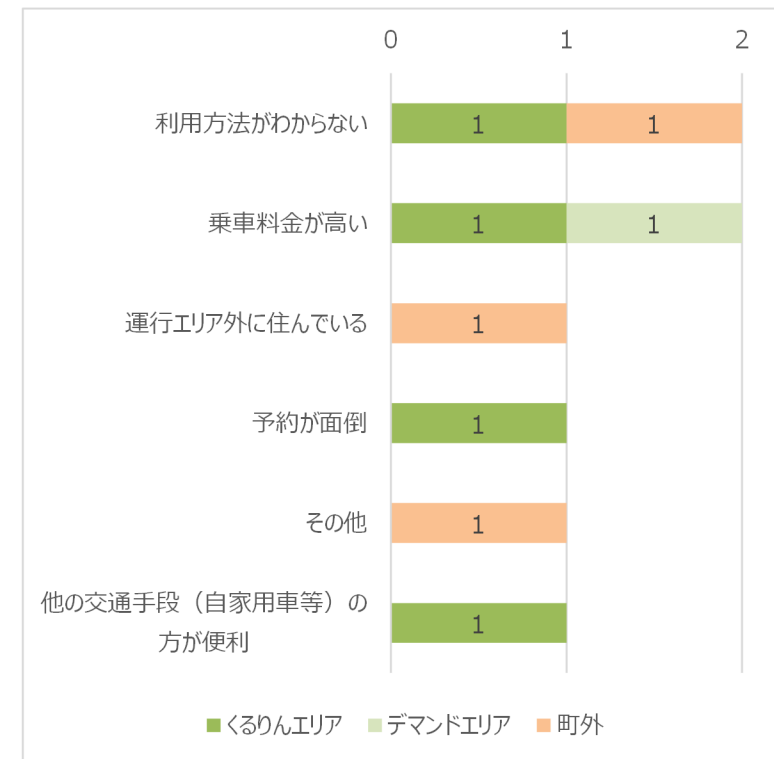
■ デマンド交通を知っているか



■ (デマンド交通を利用したことがない人は) 今後利用してみたいか



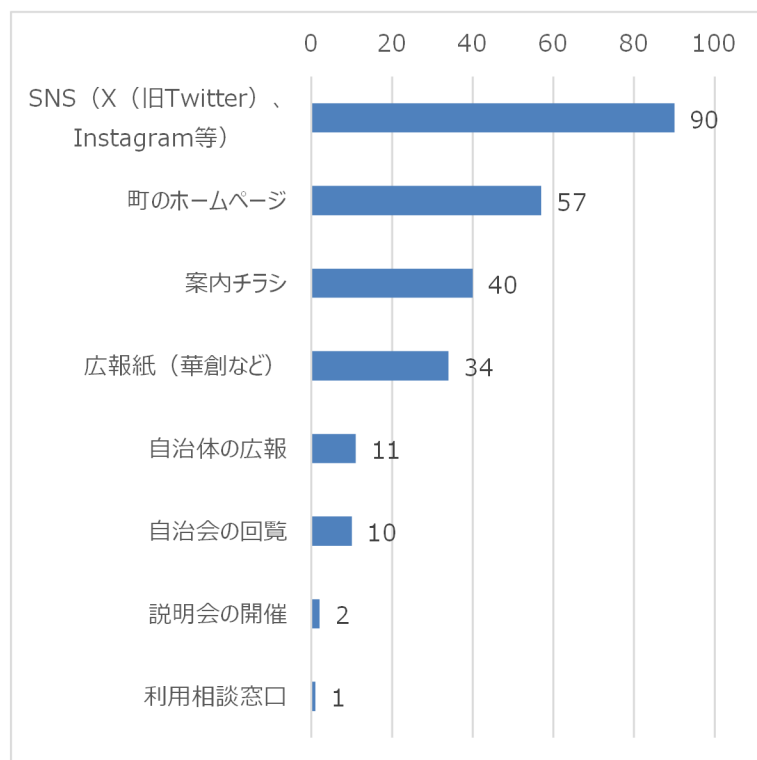
■ 今後も利用したくない理由



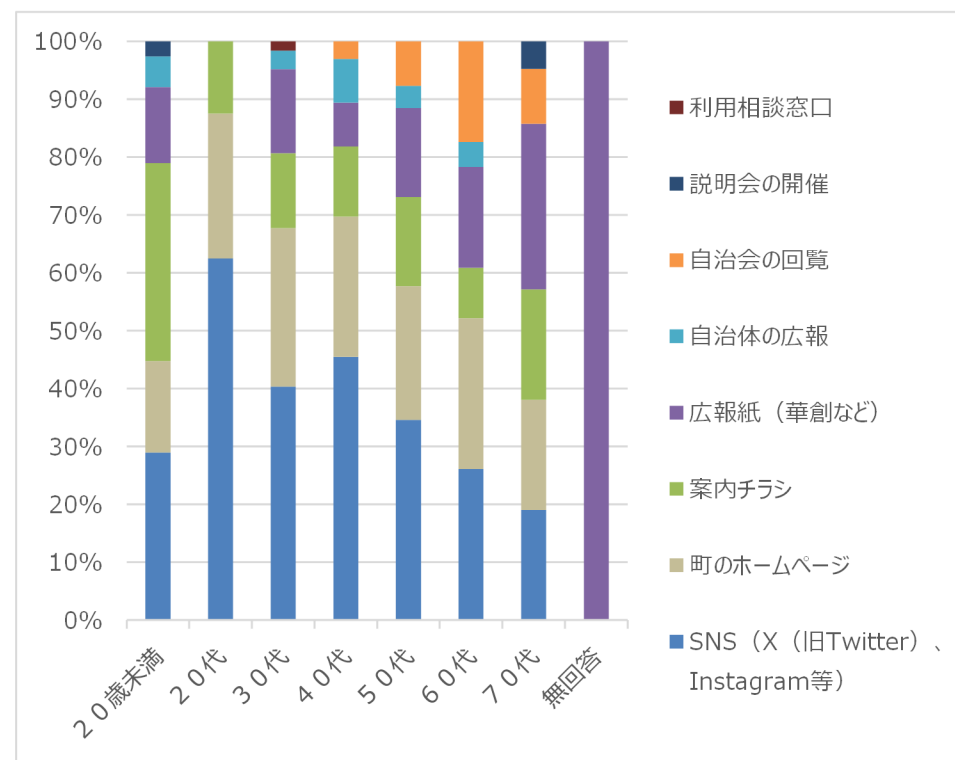


- 情報を得るツールとして最も回答が多かったのは「SNS」、次いで「町のホームページ」であった。
- 特に20代～40代は「SNS」の回答が多く、60代、70代では「広報誌」や「自治会の回覧」の回答が多くなっている。

■便利だと思う情報収集手段

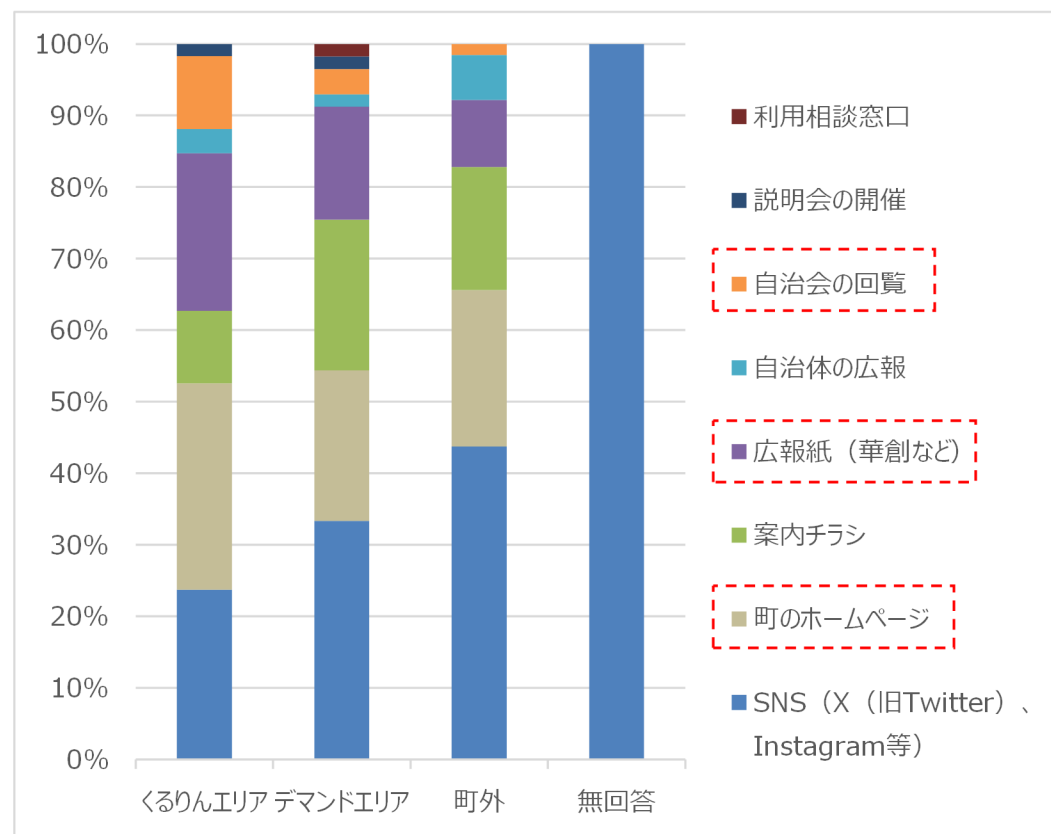


■便利だと思う情報収集手段 (年齢層別)





- 居住地別にみると、町内の居住者では「町のホームページ」「広報誌」「自治会の回覧」といった回答が町外の居住者の回答と比較して多くなっている。





- デマンド交通の利便性に関しては、利用時間の自由度の高さや乗降場所の近さが評価されている。
- 改善してほしい点としては、エリアの拡大、予約から乗車までの時間、台数の増加などが挙げられた。

■精華町デマンド交通を利用する際に便利だと感じる点

年齢	居住地	記述
20歳未満	デマンドエリア	バス停より家に近いところに乗降ポイントがある点。
70代	くるりんエリア	自己都合が容易
20代	デマンドエリア	自由に時間を指定できる点
30代	デマンドエリア	家の前に乗り場がある

■精華町デマンド交通に改善してほしい点

年齢	居住地	記述
20歳未満	デマンドエリア	希望する時間から15分前から予約させて欲しい。
70代	くるりんエリア	乗降場所を増やす。 住民への利用促進の呼びかけ。
20代	デマンドエリア	エリア間の移動ができるようにしてほしい 特に精華台地区の商業施設やけいはんなプラザに行けるようにしてほしい
30代	デマンドエリア	予約が取れないので台数を増やしてほしい
※70代	くるりんエリア	安くしてほしい

※記載枠の間違いで「便利だと感じる点」に記載

くるりんバス、デマンド交通を利用しやすくなるアイデア



- コメントのカテゴリとして最も多かったのは、運行便数や時間（ダイヤ）に関する意見となっており、便数の増加を望む声が多かった。
- 次いで多かったのは、割引制度の導入や値引きなど運賃に関する意見、運行エリア・乗降場所の拡大に関する意見であった。

精華くるりんバス・精華町デマンド交通をより利用しやすくする・利用したくなるためのアイデアがあれば教えてください。	カテゴリ①	カテゴリ②	カテゴリ③
本数を多くする	便数・時間		
朝の本数を増やして欲しい	便数・時間		
近鉄ダイヤに合う時刻に寄せて欲しい。	便数・時間		
運行本数の増	便数・時間		
本数を増やしてほしいです	便数・時間		
くるりんバスの増便	便数・時間		
ワゴン+普通自動車で台数増	便数・時間		
もっと他の地区などに広めたいと思う。	エリア・場所		
ゆめーな場所を回る	エリア・場所		
運行エリアを拡げて欲しい	エリア・場所		
木津川台でも使えるようにしてほしい	エリア・場所		
北稲jからけいはんなへ行くようにしてください	エリア・場所		
桜ヶ丘にも便利よくなるようにしてほしい	エリア・場所		
割引制度があるといい	運賃		
クーポン制度導入は、どうですか	運賃		
運賃が安すぎないか500円くらいでもよいのでは？	運賃		
回数券の導入 ICocaなどの電子マネーが使える デマンド夕方にも便が欲しい 東畑への くるりんバス	運賃	便数・時間	エリア・場所
割引制度	運賃		
料金安価、乗車場所のフレキシブル化	運賃	エリア・場所	
共同乗降利用が増えるように地域コミュニティに呼びかける	利用促進		
使い方や制度がわかるSNSなどあれば良い	利用促進		
デマンド交通は認知度向上が回り回って利用客増加と便数増、利便性向上につながると思います。			
引き続き広報活動に力を入れられるのが良いかと思ひます。	利用促進		
ニーズとのマッチングがあうかどうか	その他		
バスの中に色々な仕掛けを作ってみてお客さんが楽しめるようなデザインにしたいと思ひます。	その他		